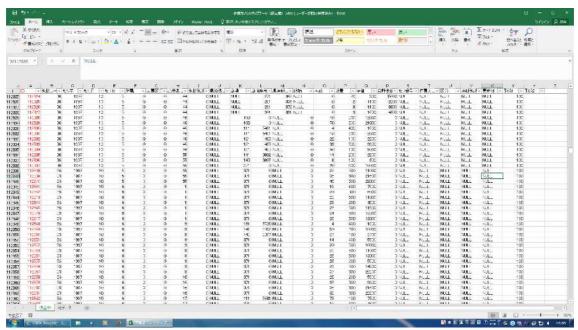
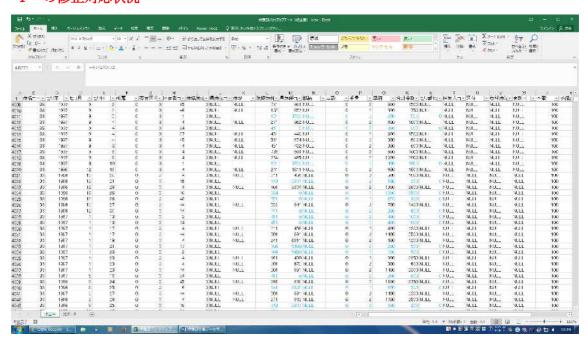
# 伊良部異常データ事例

1. 規定の列にデータが入っていない (バグで1列ズレてデータが取り込まれた?)



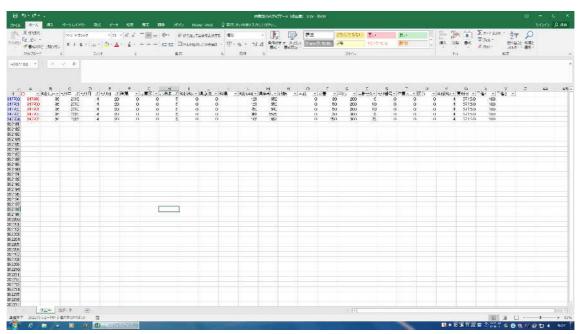
1~の修正対応状況



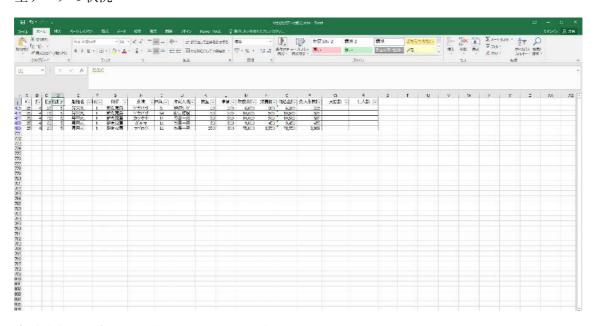
→「漁場」~「単価」までのデータ右に一マスずらして移動させた (K~R列までのデータを L~S に移動させた)

## 2. 2013年の金額の異常値(重量×単価≠金額、金額の桁も2~3桁以内)

データベース上の数値



生データの状況

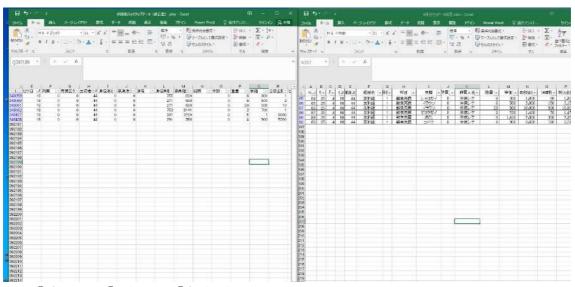


合計金額が 1/1000 の値になっている。例:1,000→1 になっていた。

- (1) ", "を小数点と認識した可能性がある。実際に 800→800 となっていたものがある。
- (2)「合計金額」=「重量」×「単価」の数式が設定されていた影響

## 3. 2013年の金額のミス

左:データベースの状況、右:生データの状況

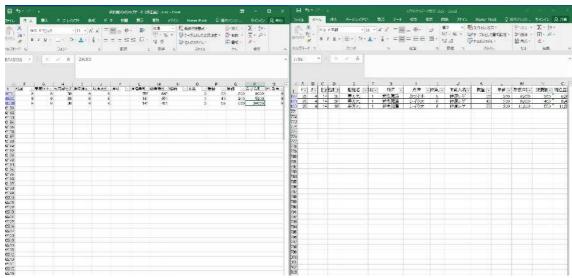


左:「重量」×「単価」≠「合計金額」 右:「数量」×「単価」=「取扱金額」

→「合計金額」=「取扱金額」なので、修正が必要

### 4. 平均単価の異常値(3の状況も併せて発生)

左:データベースの状況、右:生データの状況

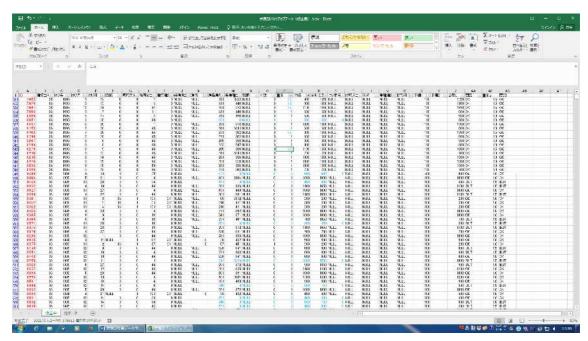


平均単価が 1/1000 の値になっている。例:1,000→1 になっていた。

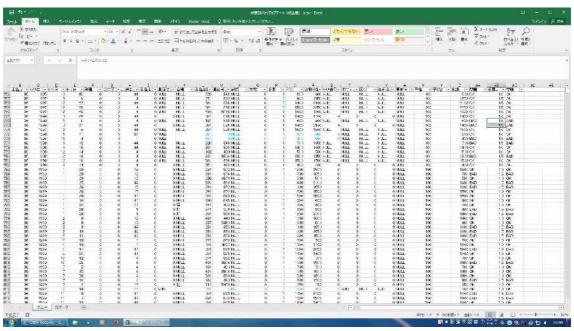
(1) ", "を小数点と認識した可能性がある。

3および4への修正対応状況→生データと比較して適宜修正

## 5. 小数点第1位以下の数量(重量)が省略されている

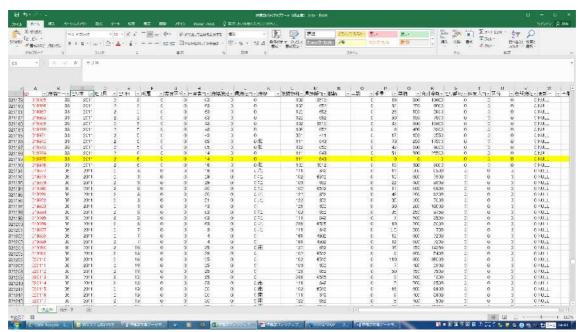


#### 5~の修正対応状況

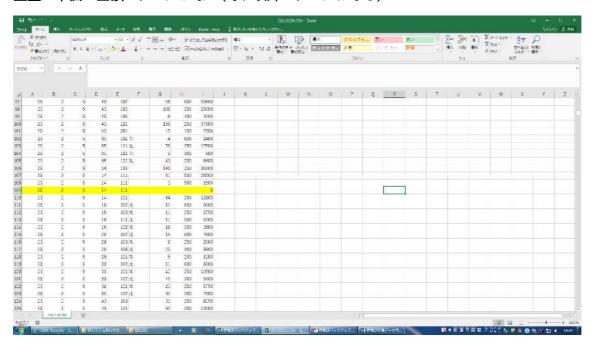


- ○「重量」×「単価」と「合計金額」が一致するかチェック
  - →「合計金額」=「金額 a」になるかならないか?・・・「問題」で"OK"か"BAD"か?
- ○「合計金額」/「単価」と「重量」が一致するかチェック
  - →「合計金額」=「金額 a」になるかならないか?・・・「問題」で"OK"か"BAD"か? チェックの結果をもとに適宜修正を行う。

## 6. 重量・単価・金額のデータがない事例

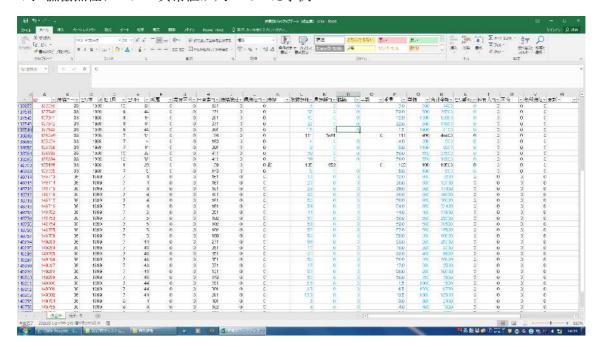


重量・単価・金額のデータがない(それ以外のデータはある)

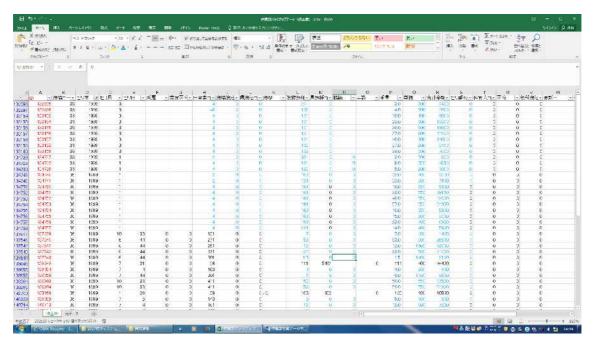


元データにも同じくデータがない→入力ミスやバグによるエラーデータの可能性 →確認できた範囲で削除する (ID は残す)。

## 7. 漁協魚種データに異常値が入っていた事例

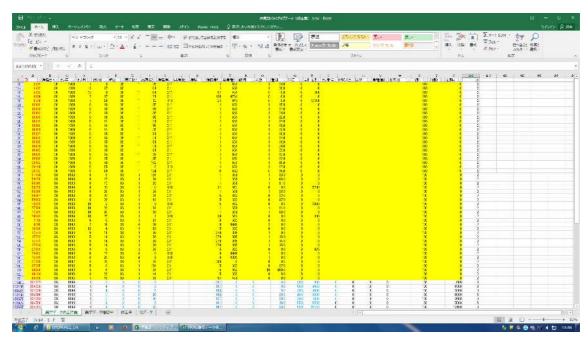


10/20 の調整で、アイテラシスステムより「漁協魚種コード」に小数点のデータが入っている事例が確認されたと情報がもたらされた



「セリ日」も異常値(32 日など)が確認された。また出荷者コードにも疑念。さらに漁協魚種コード=重量となっていたため、漁協魚種=重量となっているデータを NG データとしてソートした。その結果、「セリ日」  $\rightarrow$  「出荷者コード」、「出荷者コード」  $\rightarrow$  「漁協魚種」、「漁協魚種」  $\rightarrow$  「重量」にデータを移行した。また、「セリ日」はその月の第1日曜日の日付を割り当てた(朱色で記載)。

#### 8. 修正が出来ない異常データ (黄色い箇所)



データベースから抽出したデータで、単価 0 円/kg のものについて、元のデータと照合したところ、ほぼ同じデータの存在が確認できた。ところが、重量 0kg や、重量 0kg・単価 0kg であるにもかかわらず金額の入力があるなど問題があった。そのため当該データについては、削除して対応をする。

#### 9. 1999 年のバグデータ

項目ずれのデータについて、元データと比較したところ、重複データであることが確認されたため、削除して対応することにした。また新システムに入れるデータは、重複を削除したテキストデータ(csv ファイル)から、「FRMS 漁獲データ変換プログラム\_v1\_14.xlsm」で標準化処理したもので対応する。

- 10. 2000 年 6 月 31 日と 2001 年 9 月 31 日のデータ 存在しない日付であり、漁獲量も少ないため、削除して対応した。
- 11. 1997年5月3日と24日のデータ

漁協魚種 41(登録なし)-県魚種 621(マサバ)

⇒ 漁協魚種 141 (シイラ大) -県魚種 451 (シイラ) に修正